



地域を守る「消防団」って、カッコイイ!



朝夕は風が心地よく、秋の訪れが感じられる頃となりました。

9月10日(土)、地域の消防団の皆様に来校いただき、消防団の役割についての説明や消火作業の実演をしていただきました。参加したのは、1年生から3年生の子供たちです。

子供たちの「自分のお仕事もあるのに、どうして消防団の活動もしているのですか?」という質問に、「地域の皆さんの命を守るためです」「地域の役に立っていることが、やりがいです」などと応じていただいたことで、消防団の皆さんの地域愛を実感し、大きく心を動かされたようです。また、消防車両に乗せていただき、次々に、「これは何ですか?」と質問するなど、大興奮していました。

子供たちは、「パパがカッコよかった」「18歳になったら、消防団に入りたい」など、どの子も用紙一杯に感想を書いていました。「自助」「共助」など防災への意識も高まったようです。本当にありがとうございました。

きょうは、きてくださって、ありがとうございました。ほうすをもてたのが、うれしかったです。みずがでるところが、すごかったです。

しょうぼうだんのみなさんのこうどうが、とてもカッコよかったので、ぼくも、しょうぼうだんになろうと思いました。これからもがんばってください。

わたしがすごいと思ったのは、ふだんはふつうの仕事をしていて、しょうぼうだんのしごともしているところです。あくしゅや、しょうぼう車にのせてもらったり、ホースをさわらせてもらったりして、ありがとうございます。それから、女のしょうぼうだんの人もいることが分かったので、よかったです。火を消す以外の、ほかの仕事もしていることが分かりました。また平井小に来てください。

愛のこもったプレゼント!

子供たちが家を出るとき、「行ってらっしゃい」と声を掛けていただいているでしょうか。子供たちは、「行ってきます」と言っているでしょうか。「行ってらっしゃい」は、「がんばってね」「応援してるよ」という気持ちがこもった励ましの言葉だと思います。

慌ただしい朝ですが、どうか言葉のプレゼントと思って、「行ってらっしゃい」と言ってあげてください。

見守り隊の方は、毎朝、子供たちに「おはよう。行ってらっしゃい」と声を掛けてくださっています。地域の方にも「行ってきます!」と言ってくれるとうれしいです。



イノシシや野犬など、心配なことがあります。台風もやってきています。連休中も、子供たちの見守りをどうぞよろしくお願いします。

